

北体協第1616号
平成21年3月5日

各 競 技 団 体
事 務 局 長 様

財団法人北海道体育協会
事務局長 木村 俊昭
(公印省略)

平成21年度(財)日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成講習会
開催について

日頃より本会諸事業に関して、格別なるご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、(財)日本体育協会より別添写しのとおり、標記講習会の開催通知がありましたので、
お知らせいたします。

つきましては、貴団体において受講基準を満たし、今後も貴団体内で強化スタッフとして
継続して活動できる受講希望者がいる場合は、関係資料を熟読の上、下記の通りご提出
いただきますようお願い申し上げます。

また、本会からの推薦者は2名までとなりますので、多数の受講申込みがあった場合は、
本会スポーツ科学委員会、公認アスレティックトレーナー北海道協議会において推薦者を
決定し、結果については、その旨ご通知いたします。

記

1. 推薦者数：1～2名

※選考の結果、優先順位が下位の方が受講者として内定することも
ありますので、予めご了承ください。

2. 提出期限：平成21年3月27日（金）

3. 提出先：(財) 北海道体育協会 スポーツ振興グループ（担当：小杉）

〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1

北海道立総合体育センター内

TEL：011-820-1704

4. 提出物

①推薦者名簿

②受講希望者経歴書

(スポーツ振興グループ)

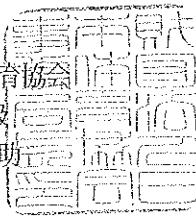


第 20 回体協育成発第 382 号

平成 21 年 2 月 26 日

加盟団体
事務局長 殿

財団法人 日本体育協会
事務局長事務取扱
専務理事 岡崎 助



平成 21 年度 本会公認アスレティックトレーナー
養成講習会受講者の推薦について（ご依頼）

平素より、本会スポーツ指導者の育成にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
さて、本会では平成 21 年度標記講習会を別添開催要項に基づき実施いたします。
つきましては、貴団体において受講条件を満たし、今後も貴団体と密接に協力し継続的に活動できる方
を推薦いただきますようお願い申し上げます。

なお、貴団体内のアスレティックトレーナー協議会等の意見を十分に聴取した上、アスレティックトレ
ーナーに関する委員会において推薦者をご決定いただくようお願い申し上げます。

なお、同一年度に、複数の団体より推薦を受けた場合、いずれかの一団体のみの推薦を審査対象といた
します（審査対象外とした推薦団体の推薦者名簿から除外し、選考対象とはいたしません）。いずれの団体
からの推薦を受理するかは本会アスレティックトレーナー部会にて決定いたします。

重複して推薦されている団体に関しては、その旨ご通知いたします。

記

1. 推薦者数 1~2 名

※選考の結果、内定者がなしの場合、もしくは優先順位が下位の方が受講者として内定することもあり
ますので、予めご了承ください。

2. 推薦書提出締切り 平成 21 年 4 月 10 日（金）

3. 提出物 ① 推薦者名簿

② 受講希望者経歴書

※関係書式につきましては、ご希望があれば電子メールにてお送りしますのでご連絡ください。
(at@japan-sports.or.jp)

4. 受講者の選考について

別紙をご参照ください

5. その他

平成 21 年度の受講者より、各期講習会受講前の自宅学習用のワークブックを用意するため、専門科目
の受講料が 44,100 円から 59,100 円に増額となります。

【本件に関する問合せ先】

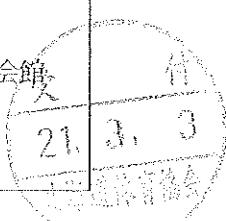
財団法人 日本体育協会

スポーツ指導者育成部 指導者育成課

〒150-8050 渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館

TEL: 03-3481-2226

担当：奈良、久保



平成 21 年度 財団法人 日本体育協会 公認アスレティックトレーナー養成講習会開催要項

1. 目的

財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づき、本会公認スポーツドクター及び公認コーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、傷害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等を担当する公認アスレティックトレーナーを養成する。

2. 主 催 財団法人 日本体育協会

3. 後 援 中央競技団体

都道府県体育協会

4. カリキュラム

(1) 共通科目 (152.5 時間：集合講習及び自宅学習) ※公認スポーツ指導者養成共通科目 I + II + III

1) 文化としてのスポーツ	3.75 h	11) スポーツの心理 I	7.5 h
2) 指導者の役割 I	5 h	12) スポーツ組織の運営と事業	10 h
3) トレーニング論 I	3.75 h	13) 対象に合わせたスポーツ指導	7.5 h
4) スポーツ指導者に必要な医学的知識 I	7.5 h	14) 指導者の役割 II	7.5 h
5) スポーツと栄養	2.5 h	15) アスリートの栄養・食事	5 h
6) 指導計画と安全管理	3.75 h	16) スポーツの心理 II	10 h
7) ジュニア期とスポーツ	5 h	17) 身体のしくみと働き	10 h
8) 地域におけるスポーツ振興	3.75 h	18) トレーニング論 II	20 h
9) 社会の中のスポーツ	5 h	19) 競技者育成のための指導法	10 h
10) スポーツと法	5 h	20) スポーツ指導者に必要な医学的知識 II	20 h

(2) 専門科目 (600 時間：集合講習及び自宅学習)

1) アスレティックトレーナーの役割	30 h
2) スポーツ科学	120 h
3) 運動器の解剖と機能	60 h
4) スポーツ外傷・障害の基礎知識	60 h
5) 健康管理とスポーツ医学（ドーピングコントロール含む）	30 h
6) 検査・測定と評価	60 h
7) 預防とコンディショニング	90 h
8) アスレティックリハビリテーション	90 h
9) 救急処置（各自日赤の救急法救急員の資格を取得する）	30 h
10) スポーツと食事	30 h

(3) 専門科目現場実習（180 時間）

1) 見学実習	30 h
2) 検査・測定と評価実習、アスレティックリハビリテーション プログラム作成実習	30 h
3) スポーツ現場実習	30 h
4) アスレティックリハビリテーション実習	30 h
5) 総合実習	60 h

5. 実施方法

(1) 共通科目

- ・集合講習：平成 21 年 7 月から 12 月にかけて、5 日間で実施する。
- ・自宅学習：集合講習受講前の 3 か月間程度。

(2) 専門科目

- ・集合講習会：以下の日程で行うが、開催期日・会場については詳細が決まり次第連絡する。
※ 集合講習会は、1 期～5 期の順で受講しなければいけない。

1 期（2 日間：9 時間）平成 21 年 10 月～11 月
2 期（5 日間：42 時間）平成 22 年 2 月～3 月
3 期（6 日間：44 時間）平成 22 年 5 月～6 月
4 期（7 日間：56 時間）平成 22 年 8 月～9 月
5 期（7 日間：58 時間）平成 22 年 10 月～11 月

※ 4 期講習会受講前に、必ず日本赤十字社「救急法救急員養成講習」を受講すること。
※ 自宅学習：集合講習会の前後

6. 受講者

(1) 受講条件

受講する年の 4 月 1 日現在、満 20 歳以上の者で、日本体育協会（以下「本会」）あるいは本会加盟団体（都道府県体育協会、中央競技団体）、又は本会が特に認める国内統轄競技団体から推薦された者。

(2) 受講者数

100 名程度とする。

7. 受講申込み

受講希望者は所定の受講希望者経歴書に必要事項を記載し、本会加盟団体に提出する。

推薦団体は、推薦者名簿を作成し本人が記載した受講希望者経歴書と共に本会へ提出する。

8. 受講料

78,000 円（消費税込：受講内定時に徴収）

＜内訳＞・共通科目：18,900 円

・専門科目：59,100 円（ワークブック代 15,000 円含む）

※免除・資格審査料等については、別に定める。

9. 受講者の決定

- (1) 各団体から提出された受講希望者経歴書に基づき、本会指導者育成専門委員会アスレティックトレーナー部会において活動実績等を審査の上、受講者を内定し、推薦団体及び本人宛通知する。
- (2) 受講内定者は、所定の受講申込書に必要事項を記入し、別に定める受講料を本会宛て納める。
- (3) 本会において受講料の入金を確認した後、受講者として決定する。

10. 講習・試験の免除

既存資格及び本会免除適応コースの履修等により、講習・試験の一部または全部を免除することができる。免除に関する詳細は別に定める。なお、養成講習会受講者は現場実習を免除する。

11. 検定試験・審査

- (1) 共通科目は理論試験、専門科目は理論及び実技試験とし、それぞれ講習終了後に実施する。
- (2) 共通科目における検定試験は、理論試験の得点による判定とし、本会において審査する。
- (3) 専門科目における検定試験は、専門科目講習会を全て受講し、本会の定める救急処置等に関する資格を取得している者が受験できる。
- (4) 専門科目における検定試験は、理論試験・実技試験の総合判定とし、本会において審査する。但し、実技試験は理論試験に合格した者が受験することができる。
- (5) 共通科目及び専門科目の全ての検定試験に合格した者を「公認アスレティックトレーナー養成コース修了者」として認める。

12. 登録及び認定

- (1) 共通科目及び専門科目の検定に合格した者に「合格証」を発行し、その後、指導者登録を完了した者に、本会公認アスレティックトレーナー「認定証」及び「登録証」を交付する。この際、「登録証」は、本会公認スポーツ指導者登録規程に基づき、原則クレジット機能付となる。
- (2) 資格の有効期限は、4年間とし4年毎に更新する。ただし、認定される資格以外に本会公認スポーツ指導者資格を有している場合は、その登録有効期限までとする（スポーツリーダーは除く）。本資格を更新しようとする者は、資格有効期限の6ヶ月前までに、本会が定める研修を受けなければならない。
- (3) 過去に何らかの本会公認スポーツ指導者資格を取得し、現在その資格が有効期限切れになっている場合、本養成講習会を修了しても登録管理システム上で有効期限切者としてデータが保存されているため、登録申請書を送付できないことがあるため注意すること。

1.3. その他

- (1) 受講有効期限は、原則として受講開始年度を含め共通科目理論試験及び専門科目理論試験合格まで5年間とし、最終年度の3月31日までとする。また、専門科目総合実技試験は専門科目理論試験に合格した後、受講有効期限に関らず2回受験することができる。
なお、受講有効期限内に共通科目及び専門科目理論試験の全てを修了しない場合は、その時点で受講者としての権利をすべて喪失する。
- (2) 本講習会受講に際し取得した個人情報は、本会及び推薦団体が、養成講習会関係資料の送付および本会公認アスレティックトレーナー関係事業を実施する際に利用し、これ以外の目的に個人情報を利用する際は、その旨明示し了解を得るものとする。
- (3) 本会公認アスレティックトレーナーの資格の取得前に、他の本会公認スポーツ指導者養成講習会を同時に受講することは認めない。
- (4) 受講者の推薦に際しては、各団体内のアスレティックトレーナー協議会等の意見を十分に聴取した上、アスレティックトレーナーに関する担当委員会等において決定すること。
- (5) 同一年度に複数の団体より推薦があった場合、一団体のみの推薦を審査対象とする。なおいずれの団体からの推薦を受理するかは本会アスレティックトレーナー部会にて決定する。
- (6) 受講申し込みから資格取得までの概要については、別紙参照。
- (7) 講習会（共通科目・専門科目）開催にかかる経費については、原則として本会が負担する。集合講習会期間中の宿泊費については、共通科目に関しては、指定の宿舎に宿泊した場合には1泊4,000円を本会が補助する。ただし、前・後泊に関わる宿泊についての補助は行わない。
- (8) 受講者としてふさわしくない行為があったと認められた場合は、本会アスレティックトレーナー部会で審査し、受講が取り消される。

公認アスレティックトレーナー養成講習会 受講者の選考について

本会、公認アスレティックトレーナー養成講習会につきましては、ここ数年受講者推薦団体・受講希望者ともに増加しており、これに対応するため本会アスレティックトレーナー一部会での受講者の選考にあたっては、以下のような推薦基準を設けて選考しているところです。つきましては貴会におきましてもこの基準についてあらかじめ承知していただいだ上で、受講者をご推薦くださいますようお願いいたします。

1) 受講者選考基準について

- ①トレーナーとしての活動実績
- ②トレーナーに関する研修会・セミナー等の参加実績
- ③受講推薦者の保有資格
- ④推薦団体との関わり（団体内でのトレーナーとしての活動実績）
- ⑤推薦団体における活用実績

推薦にあたっては、アスレティックトレーナーに求められる役割・資質等について、ふさわしい人物を、貴団体内のアスレティックトレーナー協議会またはそれに該当する組織等の意見を十分に聴取した上で、ご推薦いただくようお願いいたします。また推薦書には、必ず、その人物を推薦するに至った理由を明記してください。

なお、同一年度に、複数の団体より推薦を受けた場合、いずれかの一団体のみの推薦を審査対象といたします（審査対象外とした推薦団体の推薦者名簿から除外し、選考対象とはいたしません）。いずれの団体からの推薦を受理するかは本会アスレティックトレーナー一部会にて決定いたします。

重複して推薦されている団体に関しては、その旨ご通知いたします。

2) 推薦団体におけるアスレティックトレーナー活用状況について

- ① 公認アスレティックトレーナーの活用が図られていること
- ② 公認アスレティックトレーナーの養成を計画的に実施していること
- ③ 公認アスレティックトレーナーが関わる組織が存在する、または将来計画があること
- ④ 受講者の募集、選考、決定方法がシステム化されていること
- ⑤ 推薦者の受講中あるいは受講後の管理監督ができること

上記に関しましては、アスレティックトレーナーがかかわって活動している組織、活動状況または、活用計画（団体においてトレーナー業務にかかわる資格基準が公認アスレティックトレーナーとして義務付けされているなど）を根拠としますので資料等がございましたら添付願います。

3) 受講者の内定について

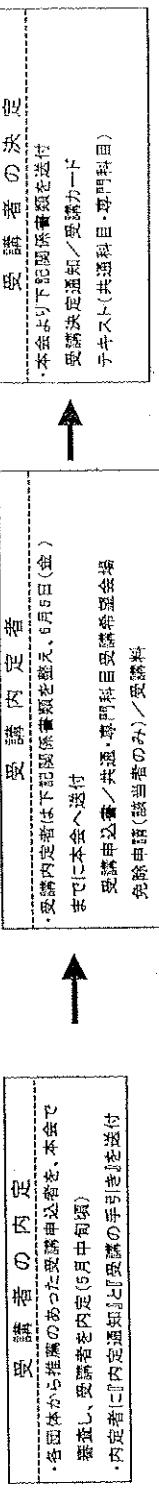
提出された個人経歴書（団体からの推薦理由がある場合は、それも勘案）について上記の基準をもとに選考し、最終的に 100 名を内定し、本人および推薦団体へ通知いたします。

従いまして、推薦団体によっては受講内定者がないこと、経歴書の審査内容によっては、優先順位が下位の方が受講内定者となることもありますので予めご了承ください。

※本会アスレティックトレーナー一部会におけるアスレティックトレーナー養成講習会受講者の選考については、上記1)、2) をもとに総合的に判断させていただいた上で、定員数以内で選考させていただきます。

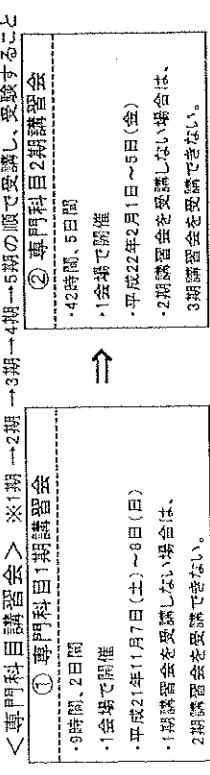
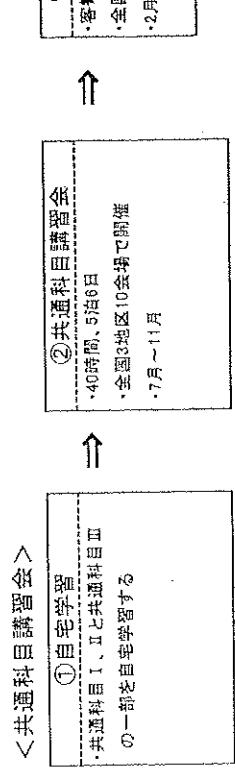
平成21年度『公認アスレティックトレーナー養成講習会』受講の流れ

1. 受講者の募集から決定まで

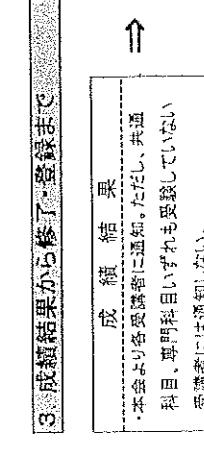
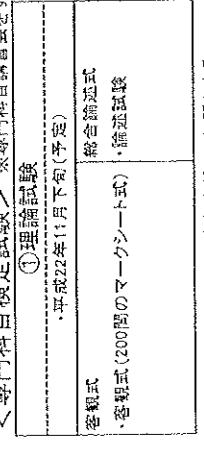


2. 講習会の流れ

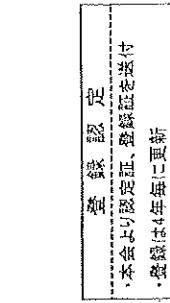
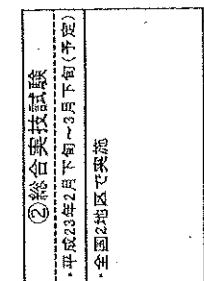
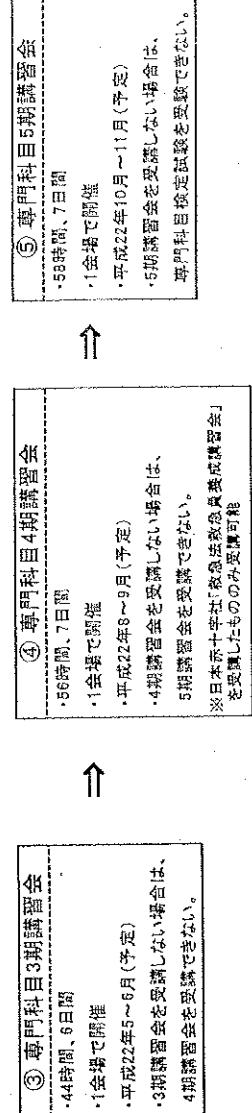
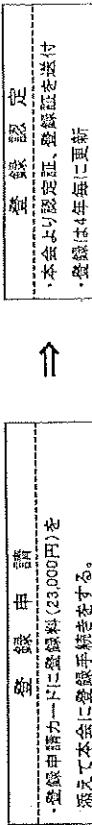
受講有効期限内(5年間)に共通科目講習会、専門科目講習会を受講し、それぞれで実施する検定試験を受験して下さい(共通科目、専門科目の順は問いません)。



<専門科目講習会> ※1期～2期～3期～4期～5期の順で受講し、受験すること



※総合実技試験の受験機会は有効期限に限らず2回とする。



共通科目Ⅱ・Ⅲ 集合講習会 受講会場一覧

会場番号	都市	期　　日	会　場　名
第1会場	東京	7月 26日(日)～ 7月30日(木)	
第2会場		8月15日(土)～ 8月19日(水)	KFCホール(講習会場) 〒136-0075 東京都墨田区横網1-6-1 TEL03-5610-5801
第3会場		8月29日(土)～ 9月 2日(水)	第一ホテル両国(宿泊先) 〒136-0075 東京都墨田区横網1-6-1 TEL03-5611-8494 ※宿泊についてはこちらの番号におかけください
第4会場		9月27日(日)～10月 1日(木)	
第5会場		11月16日(月)～11月20日(金)	
第6会場	大阪	8月 8日(土)～ 8月12日(水)	
第7会場		9月 5日(土)～ 9月 9日(水)	チサンホテル新大阪 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-2-19 TEL06-6302-5571
第8会場		10月23日(金)～10月27日(火)	
第9会場	福岡	7月29日(水)～ 8月 2日(日)	チサンホテル博多 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-8-11 TEL092-411-3211
第10会場		10月16日(金)～10月20日(火)	

平成21年度 財団法人 日本体育協会
公認アスレティックトレーナー養成講習会 受講推薦者名簿

1. 標記講習会受講者の推薦を（どちらかに○印をつけてください）

(1) する

(2) しない

2. (1) の場合下記にご記入ください。

<優先順位>	推薦者名	推薦理由	過去の推薦実績等
1			
2			

※選考の結果、受講内定者がない場合も生じますし、優先順位が下位の方が受講内定者として決定する場合もありますので
予めご了承ください。

団体名

担当者名

※受講推薦者がいない場合でもこの用紙はご提出ください。

平成21年度(財)日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成講習会
受講希望者経歴書

ふりがな	性別	生年月日(年齢)	主な研修内容
氏名	男・女	年月日(歳)	
現住所	〒	TEL ()	
勤務先及び住所	<勤務先名> 〒	TEL ()	
卒業校			

- 現在のトレーナー活動について具体的にお答え下さい。
- Q1:あなたの現在のトレーナー活動は下記のうちどれにあてはまりますか。該当する番号に△印をつけてください。(複数回答可)なお、特に中心として行っているものにはその番号に○印をつけてください。
1. マッサージ
 2. 鍼灸
 3. 物理療法
 4. 健康管理
 5. アスレチックリハビリテーション
 6. コンディショニング指導
 7. トレーニング指導
 8. テーピング
 9. トレーナー活動は特にやっていない
 10. その他具体的に()

Q2:上記で回答のあったトレーナー活動の具体的な内容についてご記入ください。

共通科目受講希望会場について、受講が決定した際に必要となりますので別紙会場一覧にて日程等を確認の上、ご記入ください。 <small>(会場の選択にあたっては、会場の立地、会場の設備、会場の運営体制などを考慮して決定してください。)</small>	第1希望	第2希望	会場番号
会場番号	都市	会場名	
東京・大阪・福岡	東京・大阪・福岡		
これまでのトレーナー活動についてお答え下さい。	主たる活動内容 (記入例) 平成元年~現在	主たる活動場所 平成13年1月	主たる活動場所 会場及び会場内に同行し、テーピングやアスレチックリハビリテーションを担当
トランク活動経験	ラグビー日本代表 〇〇保健福祉省スポーツチーム 強化合宿に同行	強化合宿に同行	トレーナーとして同行
※必ず記入すること			

■ 下記事項で該当する箇所がありましたら、ご記入ください。

Q3:現在、あなたがトレーナーとして中心的に携わっている競技(種目)についてご記入ください。
(複数競技可)『球技系』、『格闘技系』等でも可。また、病院勤務等で競技を特定できない場合、『病院勤務のため特になし』と記入してください。)

トレーナーに開催する資格	資格名	認定番号	認定団体
資格手帳に持するトレーナー	年月～年月	年月～年月	委嘱に持つての推薦団体名

*保有資格の認定番号、認定団体名は必ず記入ください。